

加須市立加須西中学校

特別支援教育

単元名：「販売会に向けて商品を作ろう」



手順が分かる掲示物の用意や、「折る」「線を引く」などがしやすくなる型紙の用意など、生徒が商品製作しやすくする工夫が多数見られた。



困ったときには、教師に質問したり、友達に聞いたりするなど、自ら助けを求めることもねらいとしながら、授業を展開していた。

参会者アンケート等から

研究会のあり方・全体的な感想

【授業・協議・全体について】 ※一部文末等を編集しています。

- 具体的な支援の方法がたくさん出され、今後に向けて大変参考になった。また、将来を見通した指導の大切さを感じ、所属は小学校だが、中学校を参観して良かったと思った。所属意識や安心感が就労にも繋がると聞き、日頃の学級経営を見直す機会となった。
- 作業学習の意義や、声かけのタイミングなど、たくさんのことを学ぶことができた。
- 特別支援の授業は、なかなか機会が少ないので、参観できて勉強になった。子供たちに合わせた支援等、将来に向けてどんなことが必要か考えながら、授業を組み立てていきたい。
- 自分では気が付かない視点を学ぶことができた。様々な方法論があることがわかり、大変勉強になった。



○様々な視点から協議を行うことができた。多角的な視点で話し合うことで、考えや授業がブラッシュアップされていくように感じた。

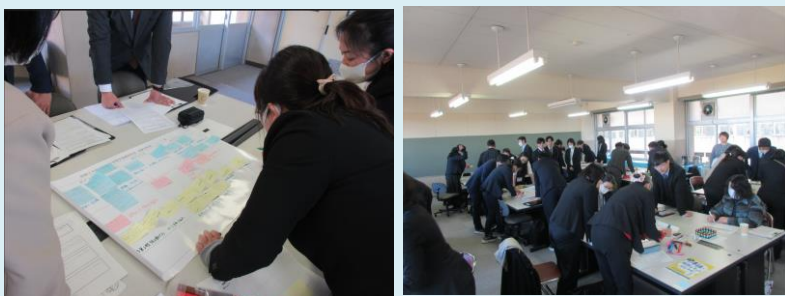
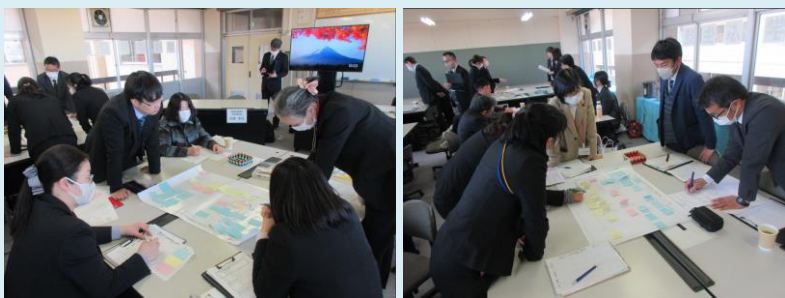
○他校の先生方の貴重な意見を聞くことができ、自分の視点が間違っていなかったことにも気づいた。また、指導者の先生のお話が端的にわかりやすく、今後保護者との関わり方にも大いに役立つものだった。

○特別支援学級の良い授業とは何か、他市町村の方の授業をみたり、意見を交換したりする大変良い機会だった。日頃悩んでいる理科や社会、自立活動などの授業もみて、意見を交換してみたい。

○本日の授業の内容が、単なる作業学習の授業ではなく、実際の就労をイメージした活動になっていた。自立活動やキャリア教育など様々なところに繋がって、教科等横断的な授業だと感じ、とても勉強になった。



作業学習で生徒が製作した商品



『私の授業の観てほしいポイント』に沿った研究協議



授業者からの説明・協議内容の発表

指導者からのご指導